

鹿県身障

かんぎ 成宜



就任挨拶

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会

会長 佐藤 彰 矩

去る四月の理事会において、本協会の会長に選任されました。戸口田前会長の後を継ぐことは誠に光栄であります。

しかしながら、前会長は法令や国の福祉施策に明るく大所高所から私どもをご指導くださいました。私は、もとより浅学非才の身ですので、どこまで会長としてやっていけるか、正直不安な気持ちもあり身の引き締まる思いでもあります。私ごとで恐縮ですが、戦後間もない5歳の時に右足に骨髄炎を患い、身体障害者手帳の交付を受け、15歳まで何回も手術をくりかえしてまいりました。おかげで、体育の授業や運動会はいつも見学でしたので他人と違うことに諦めも感じておりました。

今にして思えばこの体験は私に様々なことを感じさせ、また教えてくれました。

縁あつてこの協会会長に就任させていただいた今、これまでの体験や思いを活かしながら真に障害者の目線でものごとに取り組んでいく所存であります。

また、最近、「ちまたで「いつやるの？今でしょ」というフレーズがはやっておりますが、タイピングを失することなく、スピーディに事に対処したいと思っております。

御存知のとおり、近年、本県においては人口減少かつ少子高齢化が進行する中で、身体障害者手帳の交付者は増加傾向にあり、約半数の方が重度（1級及び2級）となっております。

このような中で、国では障害

発行所  
 社会福祉法人  
**鹿児島県**  
**身体障害者福祉協会**  
 鹿児島市小野一丁目1-1  
 ハートピアかごしま3階  
 電話099-228-6271  
 発行人 佐藤 彰 矩  
 かんぎ 第142号

者虐待防止法や障害者差別解消法が成立し、本県では障害者差別禁止条例の制定に向けた取り組みが進められておりますが、障害のある方への県民の理解不足、地域間での障害者福祉サービスの格差、あるいは障害のある方の情報通信機器利用率の低さなど、課題があると思っております。

旧伊集院町の身体障害者協会に加入以来、障害者福祉活動に参加するようになっておよそ40年になります。この経験も活かしながら、肩ひじはらず、自然体で「障害のある方が当たり前に参加できる社会」「地域にもつと障害のある方の声が届く社会」がすこしでも実現されるよう、およそ11万人の会員の皆様とともに頑張っていく所存でありますので、県や市町村身障協をはじめ、関係機関・団体の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成25年度

県身体障害者福祉協会  
新役員・新評議員の選任

社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会の新理事、新監事、新評議員が、平成25年3月28日（同年5月23日評議員一部改選）に選任されました。4月1日には新理事の中で互選が行われ、新会長、新副会長が選任されました。

なお、任期は2年で平成25年4月1日から平成27年3月31日までとなっております。

【新役員（理事・監事）】

- （新） 会長 佐藤 彰 矩
- （再） 副会長 遠矢 四 男
- （再） 理事 岩崎 貞 道
- （再） 清藤 郁 雄
- （再） 寿福 三 男
- （再） 牧内 ユキ子
- （再） 窪田 溜
- （再） 小松 憲 和
- （再） 末次 嵩
- （再） 小林 紳 也
- （再） 大久保 正 代
- （新） 高木 邦 明
- （新） 下村 一 彦
- （再） 小田 一 哉
- （再） 原田 幸 透
- （再） 神田 裕 男
- （再） 満尾 祥 一

- （新） 新評議員
- （再） 桑原 忠 正
- （再） 古川 利 示
- （再） 松原 正 彰
- （再） 藤田 利 満
- （再） 岡本 純 成
- （再） 高城 藤 成
- （再） 桑本 悟 雄
- （再） 竹本 勇 茂
- （再） 大休 良 雄
- （再） 宮ヶ原 昭 壽
- （再） 松尾 昭 壽
- （再） 石井 昭 壽
- （再） 小濱 義 昭
- （再） 小中山 岳 吉
- （再） 田中 方 馨
- （再） 今村 吉 岳
- （再） 皆川 志 春
- （再） 上野 誠 保
- （再） 佐多 昭 誠
- （再） 上野 昭 誠
- （再） 福元 一 男
- （再） 福山 輔 一
- （再） 平山 大 夫
- （再） 草野 貞 郎
- （再） 十島 昭 一
- （再） 湯島 昭 一
- （再） 木浦 沙 一
- （再） 永山 妙 子
- （再） 永野 清 彦
- （再） 宮野 清 彦
- （再） 砂野 清 彦
- （再） 黒木 樹 和
- （再） 出水 恵 子

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金及び賛助会費を充当させていただきます。

# 第58回 日本身体障害者福祉大会

## 北海道・札幌大会開催

第58回日本身体障害者福祉大会北海道・札幌大会が、北海道身体障害者福祉協会創立60周年記念全道福祉大会として、5月27日、28日の2日間、札幌市の北海道立総合体育センター（愛称・北海きたえーる）他で開催され、当協会から佐藤会長はじめ総勢29名が参加しました。



大会第1日目の27日には札幌エルプラザ（札幌市）を会場として政策協議が行われました。

政策協議は基調講演とシンポジウムの2本立てで、基調講演は東俊裕障害者制度改革担当室長から国会で審議中の「障害者差別解消法」の概要についての説明があつたのち、衛藤晟一参議院議員（安倍内閣総理大臣補佐官）から「ここ数年の障害者

報告があつた。引き続き「障害者差別解消法案の成立にむけて」と題したシンポジウムでは、竹下義樹日本盲人会連合

会長（弁護士）など3名のシンポジストが、「障害者差別解消法」の問題点、将来の展望等についてそれぞれ意見を発表、

コーディネーターの松井逸朗日身連障害者施策等に関する検討委員会委員長、コメンテーターの東障害者制度改革担当室長を

交え活発な意見交換が行われました。

大会第2日目の28日は会場を北海きたえーるに移し、式典と

議事が行われました。オープニ

ングでは千歳市立富丘中学校の生徒による手話を交えての歌や吹奏楽が披露され、大会開催の

雰囲気盛り上げられました。式典では、実行委員長・大会

会長のあいさつや、地元北海道・札幌市の歓迎のことば等に引き

続き日身連会長表彰が行われ、鹿兒島県関係者では霧島市の黒

江明氏のこれまでの功績に対し表彰状が贈られました。

続いて議事に入り、平成24年度事業報告、平成25年度事業計画、政策協議報告、大会宣言採択、大会決議採択について審議がなされ、大会決議が参加者全員の賛同のもと採択され、その

確実な実現への取り組みについて力強く宣言がなされ、閉会となりました。

なお、来年度の第59回大会は島根県松江市で5月22日、23日に開催の予定です。

・障害者権利条約批准に向けた実効性のある法整備を

・大規模災害時における障害者への支援体制の確立を

・障害を理由とする差別を禁止するための法律の早期制定を期

する

せ

・障害者総合支援法の検討事項

・大規模災害時における支援体制

・制及びネットワークの構築を促進せよ

・個人情報保護法の在り方を検討せよ

・バリアフリー・ユニバーサルデザイン施策を推進せよ

・大規模災害時における支援体制

### 大会スローガン

### 大会決議

### 障害者差別解消法が可決・成立

「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」が平成25年6月19日の参議院本会議で全会一致により可決・成立しました。

この法律は、「障害者基本法」第4条に規定している「障害を理由とする差別等の権利侵害行為の禁止」や、「社会的障壁の除去を怠ることによる権利侵害の防止」を具体化するために作られたものです。

国、地方自治体、民間事業者に差別的取り扱いの禁止の法的義務を課し、さらに国、地方自治体には合理的配慮の不提供の禁止も義務を課していますが、民間事業者には努力義務となっています。

合理的配慮というのは、事務や事業を行うに当たり、障害者やその家族から社会的障壁の除去が必要などの意思表示があつた場合に、実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利や利益を侵害することとならないよう、必要かつ合理的な配慮をしなければならないというものです。

施行日は約3年後の平成28年4月1日となっており、それまでに政府は、障害者その他の関係者の意見を反映させるのに必要な措置を講じながら、何が差別に当たるかの基本方針、行政機関等の職員のための対応要領、事業者のための指針をつくることになっていきます。

この法律の施行で国連の障害者権利条約の批准に向けて一歩前進することが期待されます。

## 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会

## 平成24年度 収支決算総括表

(単位：円)

会 計	経 理 区 分	予算額	決算額	比較増減
一般会計		186,823,358	201,808,533	△ 14,985,175
1 法人運営事業		73,436,763	87,971,056	△ 14,534,293
1 協会一般会計		12,089,473	26,737,849	△ 14,648,376
2 障害者の明るいくらし促進事業		9,370,000	9,370,000	0
3 障害者福祉活動推進事業		8,141,755	8,141,755	0
4 障害者福祉団体活動費助成事業		18,453,000	18,453,000	0
5 手話通訳者設置事業		3,228,000	3,228,000	0
6 全国障害者スポーツ大会派遣事業		10,969,040	10,969,040	0
7 広報活動事業		250,000	250,000	0
8 身体障害者作品展開催事業		500,000	500,000	0
9 情報サポート事業		8,670,883	8,686,812	△ 15,929
10 障害者保健福祉大会事業		864,612	864,600	12
11 第28回九州身体障害者ゲートボール大会開催事業		900,000	770,000	130,000
2 障害者自立交流センター事業		57,509,286	57,890,146	△ 380,860
1 自立交流センター管理運営事業		52,683,286	53,064,146	△ 380,860
2 県障害者スポーツ大会開催事業		4,826,000	4,826,000	0
3 視聴覚障害者情報センター事業		55,877,309	55,947,331	△ 70,022
1 視聴覚障害者情報センター管理運営事業		49,159,000	49,159,000	0
2 障害者の明るいくらし促進事業		3,583,000	3,583,000	0
3 盲ろう者通訳・介助員派遣事業		1,988,000	1,853,397	134,603
4 要約筆記者養成ステップアップ研修事業		280,000	280,000	0
5 重度障害者情報アクセス訓練事業		207,650	307,818	△ 100,168
6 手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣及び健康診断実施事業		659,659	764,116	△ 104,457
合 計		186,823,358	201,808,533	△ 14,985,175

## 平成25年度 資金収支予算総括表

(当初予算 会計単位及び経理区分表)

(単位：円)

会 計	経 理 区 分	前年度当初予算額	25年度当初予算額	比較増減
一般会計		187,444,631	183,338,000	△ 4,106,631
1 法人運営事業		74,148,036	69,658,000	△ 4,490,036
1 協会一般会計		11,869,309	11,450,000	△ 419,309
2 障害者の明るいくらし促進事業		9,370,000	9,488,000	118,000
3 障害者福祉活動推進事業		10,240,000	9,286,000	△ 954,000
4 障害者福祉団体活動費助成事業		18,453,000	18,453,000	0
5 手話通訳者設置事業		3,228,000	3,411,000	183,000
6 全国障害者スポーツ大会派遣事業		11,505,000	11,987,000	482,000
7 広報活動事業		250,000	350,000	100,000
8 身体障害者作品展開催事業		500,000	500,000	0
9 情報サポート事業		6,968,115	3,868,000	△ 3,100,115
10 障害者保健福祉大会開催事業		864,612	865,000	388
11 第28回九州身体障害者ゲートボール大会開催事業		900,000	0	△ 900,000
2 障害者自立交流センター事業		57,509,286	57,510,000	714
1 自立交流センター管理運営事業		52,683,286	52,684,000	714
2 県障害者スポーツ大会開催事業		4,826,000	4,826,000	0
3 視聴覚障害者情報センター事業		55,787,309	56,170,000	382,691
1 視聴覚障害者情報センター管理運営事業		49,159,000	49,159,000	0
2 障害者の明るいくらし促進事業		3,583,000	3,583,000	0
3 盲ろう者通訳・介助員派遣事業		1,988,000	1,988,000	0
4 重度障害者情報アクセス訓練事業		207,650	180,000	△ 27,650
5 手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣及び健康診断実施事業		569,659	660,000	90,341
6 要約筆記者養成ステップアップ研修事業		280,000	0	△ 280,000
7 同行援護従業者養成研修事業		0	600,000	600,000
合 計		187,444,631	183,338,000	△ 4,106,631

第13回全国障害者スポーツ大会

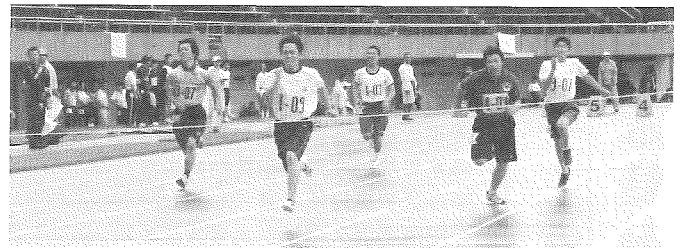
鹿児島県選手団 個人競技選手一覧

競 技	氏 名	障害区分	所 属
陸上競技	西之園 楓 馬	肢体19	県立鹿児島養護学校
陸上競技	永 田 和 隆	肢体18	ゆずの里
陸上競技	山 下 裕 隆	肢体1	鹿児島市
陸上競技	小 吹 吉之助	視覚25	県立盲学校
陸上競技	川 畑 大 輔	肢体22	薩摩川内市
陸上競技	三 雲 明 美	視覚24	鹿児島市
陸上競技	摺 木 永美子	視覚26	県立盲学校
陸上競技	祁答院 エミ子	聴覚27	伊佐市
陸上競技	川 野 亮 介	知的28	武岡台養護学校
陸上競技	野 村 雄 輝	知的28	串木野養護学校
陸上競技	餅 原 和 則	知的28	慈生園
陸上競技	柳 村 照 生	知的28	ハイビスカス
陸上競技	山 下 直 哉	知的28	牧之原養護学校
陸上競技	大 田 直 人	知的28	鹿屋市てをつなく育成会
陸上競技	敷 根 春 子	知的28	新葉学園
陸上競技	小 澤 陽 子	知的28	新葉学園
陸上競技	吉 田 この身	知的28	出水養護学校
陸上競技	三 堂 美 子	知的28	さちかぜ
水 泳	水之浦 修 一	肢体6	鹿児島市
水 泳	久 永 喜八郎	視覚23	鹿児島市
水 泳	中 尾 涉 也	知的27	鹿児島大学教育学部付属特別支援学校
水 泳	太田黒 忖 成	知的27	鹿児島高等特別支援学校
水 泳	林 伸 悟	知的27	サポートなごみ
水 泳	道 岡 彩 花	知的27	鹿児島城西高等学校
アーチェリー	上 本 ちよみ	聴覚7	鹿屋市
卓 球	満 田 百 代	肢体6	霧島市
卓 球	有 得 勝 子	肢体4	熊毛地区
卓 球	桑 代 ひとみ	視覚15	南九州市
卓 球	糸 好 貴	知的18	鹿児島高等特別支援学校
卓 球	日 比 涼	知的18	出水養護学校
フライングディスク	萩 原 喬 介	肢体	鹿児島市
フライングディスク	持 留 慎 吾	肢体	志布志市
フライングディスク	清 田 ひとみ	聴覚	鹿児島市
フライングディスク	染 川 真 一	知的	育成会(セルブあいら)
フライングディスク	矢 上 和 也	知的	末吉学園
フライングディスク	高 橋 美 雪	知的	薩来園
フライングディスク	東 條 奈津紀	知的	なのはな園
ボウリング	山 本 宗一郎	知的	花の木大豆工房・花の木冷菓堂
ボウリング	卓 間 圭 祐	知的	(株)カクイックス

グラウンドソフトボール選手一覧

役 職	氏 名	役 職	氏 名
監 督	石 井 昭 雄	選 手	岩 崎 浩
コーチャー	桑 原 憲 一	選 手	藤 崎 強
コーチャー	向 江 成 年	選 手(主将)	木 村 彰 彦
コーチャー兼総務	内 山 瑞 典	選 手	南 明 志
コーチャー	中 島 健 一	選 手	中 野 正 人
マネージャー	田 村 さとみ	選 手	田之上 誠 弥
選手(部長)	神 田 裕 透	選 手	中 村 瑞 穂
選 手	堂 前 秀 一	選 手	満 重 義 人
選 手	宮 城 聖 一	選 手	愛 甲 龍 輔
選 手	増 当 洋	選 手	福 里 勇 太
選 手	松 下 武 雄		

第7回 鹿児島県障害者スポーツ大会



第7回鹿児島県障害者スポーツ大会が5月19日、県立鴨池陸上競技場、ハートピアかごしま、県立短期大学、サンライトゾーンを会場に盛大に開催されました。

4会場で6競技(陸上競技、水泳競技、卓球競技、フライングディスク競技、アーチェリー競技、ボウリング競技)1種目(レクリエーション)に身体障害者276名、知的障害者769名、あわせて1045名がエントリーしました。その選手を支える大会役員、競技役員、競技補助員、ボランティア等667名、付き添い応援者約1000名が一堂となって大会を盛り

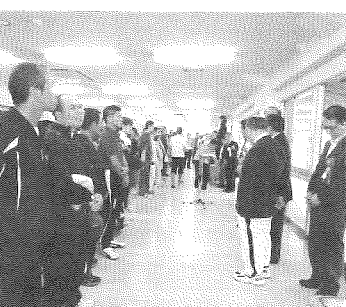
上げました。競技補助員として大会運営の補助を県内9つの中学校、高校、専門学校の生徒に協力していただき、また大学、一般ボランティアの方々も選手への誘導や介助等を行い、選手の方々がベストな状態で競技に臨めるよう多くの方が競技運営をサポートしてくださりました。この場をかりて感謝申し上げます。

陸上競技では、あいにくの天気の中でしたが、選手は雨に打たれながらも日頃の練習の成果を十分に発揮し、懸命に競技に向かう姿は、支えるスタッフ、応援する者の心を熱くしました。

全国大会の記録をも上回るハイレベルな競技が繰り広げられる中、自己の記録と戦う選手や初めての参加に緊張しながらもベストを尽くす選手と、今年もまた多くのドラマが生まれました。フライングディスク競技では、今年度は県立短期大学を会場とし、雨天の為足場の悪い中でしたが、アキュラシー競技・ディスクスタンス競技とも好成績も残され熱戦が繰り広げられました。今大会は10月に東京都で開催される第13回全国障害者スポーツ大会の県予選も兼ねており、今大会の大会結果や選手の障害

種別、出身地区等を考慮し、大会企画委員による選考会を行い個人競技の代表選手が決定しました。

10月の全国障害者スポーツ大会に向け、代表選手に選考された選手の方々は、さらに記録の向上を目指し練習に励んでいます。



雨天のため室内で行われた開会式  
～鴨池陸上競技場～